

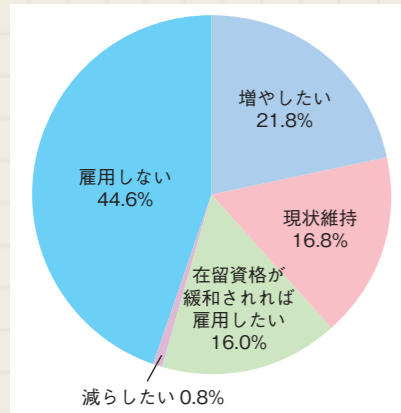
調査レポート Part.2

Report

外国人労働者の雇用に関する調査

～在留資格の緩和、手続きの簡素化求める声多数～

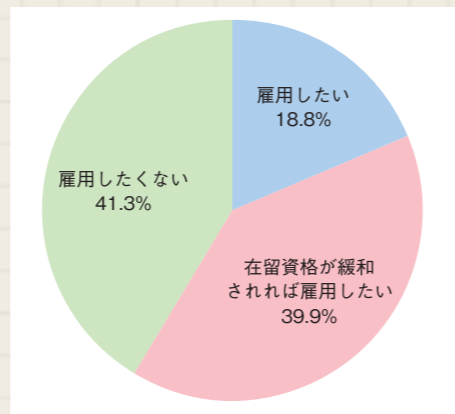
【グラフ5】今後の外国人労働者雇用計画



また現在、日本に留学している外国人留学生を卒業後採用する意思があるかを尋ねたところ、「雇いたい」が18・8%で約2割、「在留資格が緩和されれば雇いたい」が39・9%で約4割と、併せて6割近くの事業所が外国人留学生の雇用に対して前向きな回答となった。(グラフ6参照)

《今後の外国人雇用計画》
今後の外国人雇用の計画について、「雇わない」が44・6%となった一方で、「増やしたい」が21・8%、「現状維持」が16・8%、「在留資格が緩和されれば雇いたい」が16・0%となり、半数以上が外国人雇用に向き姿勢、関心を示している。(グラフ5参照)

【グラフ6】外国人留学生の雇用について



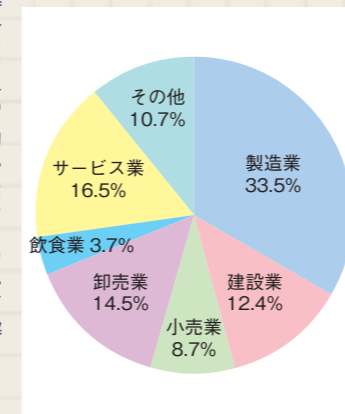
《外国人を雇わない理由》

外国人を雇わない企業の理由としては、「業種的に難しい」が46・2%、次いで「社内の受け入れ体制が未整備である」が41・5%と多くとなっている。

「教育、指導が難しい、手間がかかる」が38・7%、「言葉や文化、宗教の違いによる不安がある」が36・8%、「社内コミュニケーションに不安がある」が34・9%となっている。

外国人を採用する際、言葉や文化、宗教等の違いから、日本人採用のみの場合には起こりえないトラブルや多くの手間が掛かるため、外国人労働者の雇用を敬遠する一因となっていることが推測さ

【グラフ1】回答事業所の業種



《外国人労働者雇用の状況》
外国人雇用（日本国籍取得者や

○期間
平成30年9月7日(金)～9月13日(木)

○方法
FAXによる送付、回収

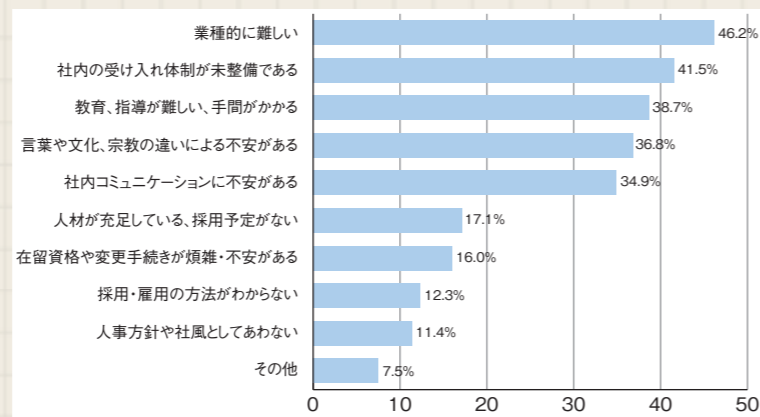
○対象
当所会員企業(本社・福井県内) 1,000社を無作為に抽出

○回収数
242社(回収率 24・2%)

《調査概要》

《調査目的》
会員企業の外国人労働者雇用の実態を把握するため、アンケート調査を実施。県内企業の今後の人材確保対策の参考とする。

【グラフ7】外国人を雇わない理由

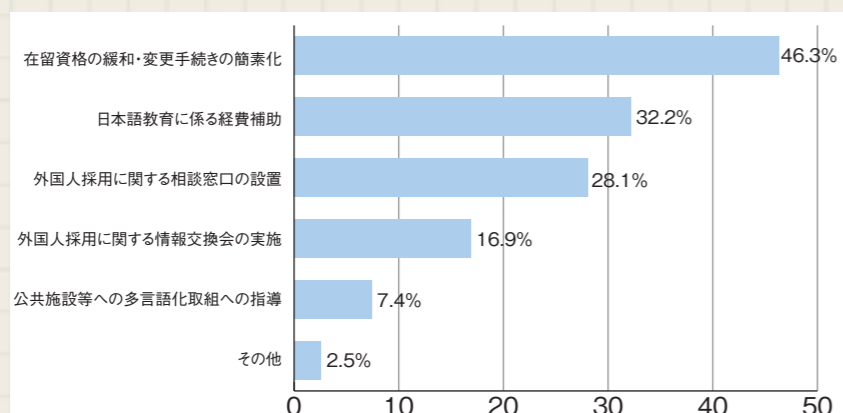


《行政機関に求める支援策等》

行政機関に対して求める支援策は「在留資格の緩和・変更手続きの簡素化」が46・3%と最も多い。

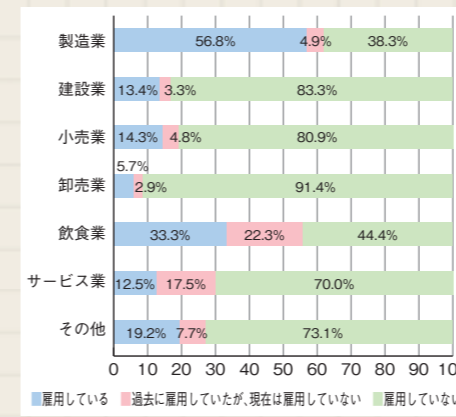
これは例えば外国人留学生を雇用する際、留学から就労への在留資格変更手続きや同じ就労在留資格でも職種の変更手続きを必要とされるケースが多く、費用では見えない負担を事業所にかけてい

【グラフ8】行政機関に求める支援策

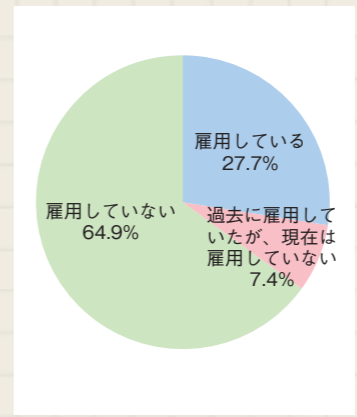


《外国人労働者雇用の理由》
外国人を雇用する理由は「日本人が採用できない」が55・2%と最も多く、続いて「真面目・熱心な人が多い」が31・3%、「日本人より賃金が安い」が28・3%、「海外展開強化のため」が25・4%となっている。

【グラフ3】外国人労働者の雇用状況(業種別)

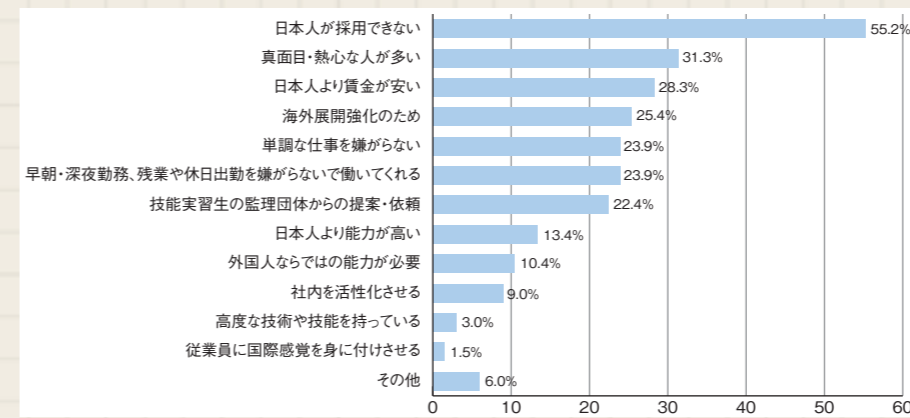


【グラフ2】外国人労働者の雇用状況



海外での現地採用を除く)の現状について尋ねたところ、「雇用している」事業所は回答全体の27・7%となり、「過去に雇用していた」事業所(7・4%)を併せると、全体の1/3以上で外国人労働者雇用の実績がある。(グラフ2参照) また製造業では6割近くの事業所が外国人を雇用しており、他の業種と比較して極端に多くなっている。(グラフ3参照)

【グラフ4】外国人労働者を雇用する理由



「海外展開強化のため」が25・4%となっている。(グラフ4参照)

お問い合わせ先
福井商工会議所 経営支援・人材育成課
TEL 0776(33)8283